



# シュンデンタルタイムズ 10

2023

今月の特集

マウスピース矯正とワイヤー矯正の違いって？

今回は、シュンデンタルタイムズNO.44(2022.9月発行)でも少し取り上げたマウスピース矯正と従来のワイヤー矯正の違いについて取り上げてみたいと思います。

No.044は  
こちらを  
ご覧ください



## マウスピース矯正とは

マウスピース矯正は透明なマウスピース状の装置を付けて矯正する方法です。従来のワイヤー矯正と比較して、周りの人に矯正治療をしていることが分かりにくいことや、食べ物が歯の隙間やワイヤー矯正でのブラケットとの隙間に挟まる心配もないため、不快感や異物感もおさえられます。

しかし、マウスピース矯正は全ての歯並びに有効というわけではありません。自分の歯並びがマウスピース矯正に適しているかを確認する必要があります。

### 〈比較表〉

|                        |  マウスピース矯正 |  ワイヤー矯正 |
|------------------------|--|--|
| 見た目                    | 装置が透明で目立たない  | 装置が目立つ   |
| 痛み                     | 比較的少ない   | 多少痛みを伴う  |
| メンテナンス性                | 取り外しできるため<br>メンテナンスしやすい  | 装置の取り外しができないため<br>歯みがきをしっかり行う必要がある   |
| 治療費の目安                 | 70~100万円程度   | 70~100万円程度   |
| 治療期間の目安<br>※歯並びによって異なる | 2~3年程度   | 1.5~3年程度   |
| 適応範囲                   | 歯並びや骨格によって<br>適応できないケースもある   | 多くの症例に対応可能   |

次のページで、それぞれのメリット・デメリットについて詳しく解説します。

## マウスピース矯正のメリット

MERIT  
01

装置が目立ちにくい



MERIT  
02

衛生的で痛みが比較的少ない

MERIT  
03

金属アレルギーの人でも  
安心して治療できる

MERIT  
04

取り外しができるため、**歯みがきが**  
**しやすく、むし歯や歯周炎になりにくい**

## マウスピース矯正のデメリット

DEMERIT  
01

自分自身で装着時間を  
管理しなければならない

DEMERIT  
02

装着時間は1日/22時間以上が好ましく、  
装着時間が足りないと歯が動かせないため  
効果を得ることができない

※たとえ違和感があっても、  
取り外さないように注意が必要です

DEMERIT  
03

どんな歯並びでも  
対応できるわけではない

例) 抜歯が必要な矯正治療や前歯の重なりが  
大きすぎる歯並びなどは不得意

## ワイヤー矯正のメリット

MERIT  
01

比較的**適応できる症例が多く**、  
安心して治療できる

MERIT  
02

ピース矯正では**適応できない口元を**  
大きく変える治療でも、ワイヤー矯正なら  
治療を進められる可能性がある



MERIT  
03

マウスピース矯正よりも  
歯の移動速度が早い**ため**  
治療期間を短縮できる可能性がある

## ワイヤー矯正のデメリット

DEMERIT  
01

歯の表面に**ブラケット**と呼ばれる矯正器具を  
装着するため装置が目立つ

DEMERIT  
02

一本一本の歯に**ブラケット**を装着するため  
ブラケットと歯の隙間などに食べカスが  
詰まりやすく、歯をみがきに時間をかける  
必要がある ※みがき残しには注意が必要

DEMERIT  
03

装置を調整した日から**3日間程度は**  
痛みが続くことがある  
その後の痛みは1週間程度で治まる

今回は、**矯正治療**についてお知らせいたしました。

次回は続編として矯正治療についてもう少し詳しくお知らせしたいと思います。

# シュンデンタルクリニック

〒041-0802 北海道函館市石川町 461-38 TEL 0138-47-3737

<http://shundc.jp/>